第四期帯広市アイヌ施策推進計画　令和7年度事業実績資料

資料5

	主な施策									
基本方向	施策の推進	実施施策等		実施内容	第四期計画期間（R7）における施策の推進状況、検証	R７年度 予算額 （単位：円）	R７年度 決算額 （単位：円）	増減額 （単位：円）	増減理由	主な担当課
Ⅰ．アイヌ民族についての理解促進	（１）啓発活動の推進	①	アイヌ生活文化展や公共施設でのパネル展などの各種普及啓発イベントについて、より効果的な開催手法の検討を行いながら開催し、アイヌ民族の歴史や文化の市民理解の促進を図ります。	・帯広アイヌ協会等のアイヌ関係団体と市で実行委員会を組織し、アイヌ文化交流会や伝統工芸展等、アイヌ民族に関する展示・体験による市民啓発を進めます。	・帯広市アイヌ生活文化展実行委員会で以下のイベントを開催しました。 アイヌ文化交流会　285人 アイヌ生活文化展　135人 アイヌ伝統工芸展（移動展） 刺しゅう教室　19人	600,000	600,000	0		地域福祉課
		②	アイヌ民族文化情報センター「リウカ」やそのホームページ等を通じて、アイヌ民族の歴史や文化の情報発信を進めます。	・アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の機能充実をはかります。 ・学校の授業受け入れ、学校や団体への出前講座などを行います。 ・関係機関との連携をはかり、啓発活動につとめます。	・アイヌ文化に関する出前講座を13件（学校8、その他5）実施しました。 ・アイヌ文化資料、アイヌ文化パネルの貸し出しを5件行いました。	0	0	0		百年記念館
	（２）地域活動の促進	①	アイヌの人たちが活動しやすい環境づくりを進めるため、関係団体等との意見交換を行いながら、活動拠点である生活館の利便性の向上を図ります。	・生活館がアイヌの人たちの活動拠点であることから、施設機能を充実し、活動を促進します。	・施設の維持管理のため、随時設備の更新等を実施しました。	8,222,000	7,374,589	▲ 847,411	電気料金の減 除雪費の減	地域福祉課
		②	アイヌ協会への支援を行い、その活動を促進します。	・帯広アイヌ協会が実施する組織・人材の育成、活動促進を目的とした事業を支援します。	・事業費補助を行い、活動を支援しました。	400,000	400,000	0		地域福祉課
	（３）教育機会の充実	①	児童生徒がアイヌ民族の歴史や文化を正しく理解できるよう、おびひろ市民学や社会科副読本「おびひろ」など、アイヌ民族の歴史・文化に対する教育機会の充実を図ります。	・おびひろ市民学の講座や副読本「おびひろ」を活用して、アイヌの人々の暮らしについて理解を深められるよう、内容や資料の充実を図ります。	・令和7年度用副読本「おびひろ」の作成にあたり、内容や資料の整合性について確認をしました。	0	0	0		教育研究所
		②	正しい理解のもとアイヌ民族に係る授業などが行われるよう、学校訪問などを通じて、アイヌ民族の歴史や文化の指導方法や指導内容の充実を図ります。	・アイヌの人々の伝統や文化、歴史について正しく理解することを目指し、おびひろ市民学において専門家などの外部講師を招聘し、講座を開催します。	・令和２年度より、おびひろ市民学がスタートし、出前講座「アイヌの人たちの文化を知ろう」を、令和7年度は20校の小学校及び義務教育学校で行いました。	0	0	0		教育研究所 学校教育指導課

第四期帯広市アイヌ施策推進計画　令和7年度事業実績資料

	主な施策								
基本方向	施策の推進	実施施策等	実施内容	第四期計画期間（R7）における施策の推進状況、検証	R７年度 予算額 （単位：円）	R７年度 決算額 （単位：円）	増減額 （単位：円）	増減理由	主な担当課
Ⅱ.アイヌ文化の振興	（１）知識の普及と啓発	①　アイヌ文化に関する各種体験教室や出前講座の開催などにより、アイヌ文化に関する知識の普及啓発を図ります。	・博物館講座、体験教室、自然観察会、郷土学習見学会などにおいて、アイヌ文化を扱う講座を開催します。〔百年記念館〕	・アイヌ文化関係の博物館講座を3回（うち1回は北大アイヌ先住民研究センターと連携）を開催しました。（計73名参加） ・アイヌ文化関係の自然観察会を1回開催しました。（5名参加） ・アイヌ文化ロビー展を1回開催しました。（1,189名観覧）	0	0	0		百年記念館
			・アイヌ文化の啓発・理解促進をはかるため、アイヌ文化推進員を配置します。〔生涯学習文化課〕	・アイヌ文化推進員を配置し、アイヌ文化の啓発・理解促進をはかりました。	3,536,000	3,625,000	89,000	報酬改定による増	生涯学習文化課
		②　アイヌ民族文化情報センター「リウカ」やそのホームページ等を通じて、アイヌ文化の情報発信を進めます。	・アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の機能充実をはかります。 ・学校の授業受け入れ、学校や団体への出前講座などを行います。 ・関係機関との連携をはかり、啓発活動につとめます。	・アイヌ文化に関する出前講座を13件（学校8、その他5）実施しました。 ・アイヌ文化パネル、アイヌ文化資料の貸し出しを5件行いました。	0	0	0		百年記念館
	（２）文化の保存と伝承	①　アイヌ文化の保存と伝承が図られるよう、帯広市指定文化財であり、アイヌの人たちが伝承してきた歌や踊り、儀式などの伝承保存活動を行う「帯広カムイトウウポポ保存会」の活動を支援します。	・帯広カムイトウウポポ保存会の活動を支援するとともに、伝統文化の指導者や後継者の育成につとめます。	・帯広カムイトウウポポ保存会への支援を行い、教室開催や公演参加などの保存伝承活動につながりました。	240,000	240,000	0		百年記念館
		②　アイヌ語や刺しゅう、料理などのアイヌ民族固有の文化や技術について、体験イベントの開催などを通じて、保存と活用を図ります。	・イベント等で伝統的な技術を活用し、文化の保存継承をはかります。 ・アイヌ文化の伝承を促すため、古老であるエカシ、フチより伝承すべき知見、事由について聴き取ります。	（再掲） ・帯広市アイヌ生活文化展実行委員会で以下のイベントを開催しました。 　アイヌ文化交流会　285人 　アイヌ生活文化展　135人 　アイヌ伝統工芸展（移動展） 　刺しゅう教室　　19人	600,000	600,000	0		地域福祉課
				・エカシフチへ伝承すべき知見、事由を聴き取り聴取記録を作成しました。また、コミュニティ活動の活性化も図りました。	674,000	674,000	0		地域福祉課

第四期帯広市アイヌ施策推進計画　令和7年度事業実績資料

基本方向	主な施策 施策の推進	実施施策等		実施内容	第四期計画期間（R7）における 施策の推進状況、検証	R7年度 予算額 （単位：円）	R7年度 決算額 （単位：円）	増減額 （単位：円）	増減理由	主な担当課
Ⅱ.アイヌ文化の振興	（2）文化の保存と伝承	③	ユネスコ無形文化財であるアイヌ古式舞踊を、観光客向けの付加価値の高い観光コンテンツとして磨き上げ、市内中心部をはじめとする様々な場所で披露することで、持続的にアイヌ文化の発信を続けられる仕組みづくりを進めます。	・イベント等でアイヌ古式舞踊を披露し、アイヌ文化の認知向上・伝承に向けての担い手の確保を図るほか、舞踊プログラムの完成度の向上・アイヌガイドの育成等、付加価値の高い体験となるよう、取り組みを進めます。	地域住民や観光客などに向けて、全10回舞踊を披露し、計431名を集客。また、担い手確保のため、講演会を1回、ワークショップを2回開催しました。さらに、これらコンテンツの継続的な実施と高付加価値化を目指し、ガイド育成及び体験指導者の育成に取り組みました。	10,000,000	9,999,999	▲ 1		観光交流課
		④	市内のアイヌ関係の団体と他地域の先住民族などとの交流活動を促進します。	・帯広アイヌ協会などが実施する交流事業に協力し、アイヌ民族の発展と市民の理解促進をはかります。	・とかちエテケカンパの会及び帯広アイヌ協会が中心となり、カナダより先住民族の「ヘイルツック族」を招聘し、交流事業を実施。市としては帯広市アイヌ生活文化展実行委員会で開催する「アイヌ文化交流会」への参加をお願いし、各種交流を促進しました。	0	0	0		地域福祉課
	（3）調査研究の推進	①	十勝・帯広のアイヌ民族の生活・文化に関する資料を収集・保存し、調査研究と情報発信を進めます。	・アイヌ文化に係わるさまざまな情報を収集し、市民への発信を行いました。また、アイヌ文化に関する調査研究を行います。	・ホームページやリウカ来訪者への情報発信を行うとともに、展示資料の記録についてデジタル化を行いました。	1,160,000	1,083,003	▲ 76,997	・消耗品費の減 ・通信運搬費の減	百年記念館
				・アイヌ関係資料について、幅広く、積極的に収集し、整理・保存・提供を行います。	【吉田巌資料】 ・日誌等421コマをPDF化しました。 ・寄贈資料の整理・保存を行いました。（通年） 【アイヌ関係資料】 ・アイヌ関係資料の収集・保存・提供を行いました。	122,000	102,168	▲ 19,832	マイクロ化からPDF化への変更による委託料の減	図書館
Ⅲ.生活の安定と教育の充実	（1）生活の安定	①	アイヌ生活相談員を配置し、アイヌの人たちからの生活や健康、就職、住まいなどの各種相談に応じ、解決に向けた支援を行うほか、アイヌの人たちの生活実態の把握を行います。	・アイヌの人たちの生活上の相談を適切に対応できるよう、専門のアイヌ生活相談員を配置して、生活の安定につとめます。	・アイヌ生活相談員を配置し、アイヌの人たちの相談支援体制の充実を図りました。 生活相談　106件 健康相談　131件 教育相談　12件 育児相談　10件 その他相談　501件　計　760件	3,601,000	3,773,650	172,650	人事院勧告に伴う給与改定による増	地域福祉課
	（2）生活環境などの向上	①	住宅新築等資金貸付の実施により、アイヌの人たちの持家取得を促進します。	・アイヌの人たちの持ち家制度を活用し、アイヌの人たちの持ち家を促進することによって、生活環境を充実させます。	・随時申請に対応していますが、平成21年以降貸付実績はありません。	0	0	0		地域福祉課
	（3）教育支援の充実	①	アイヌ教育相談員を配置し、アイヌの児童生徒やその保護者からの教育相談に応じるほか、アイヌ子弟の高校や高等教育機関への進学・就学費用の助成制度の利用を支援します。	・アイヌ子弟に対する教育上の相談に対応するため、アイヌ教育相談員を配置します。	・アイヌ教育相談員を配置し、就学支援を中心に、61件の相談を受け付けました。相談員により、アイヌ子弟の教育と相談体制の充実を図り、教育を支援しました。	2,900,000	2,988,000	88,000		学校教育指導課
				・アイヌ子弟が十勝管外の大学・短大・専門学校等に就学する際に要する費用を支援します。	・高等教育扶助を行い、高等教育機関への進学機会の確保を図りました。（R7　実人員４名）	700,000	400,000	▲ 300,000	申請者の減	学校教育課